

回復期リハビリテーション病棟へ 入院される患者様・御家族様へ



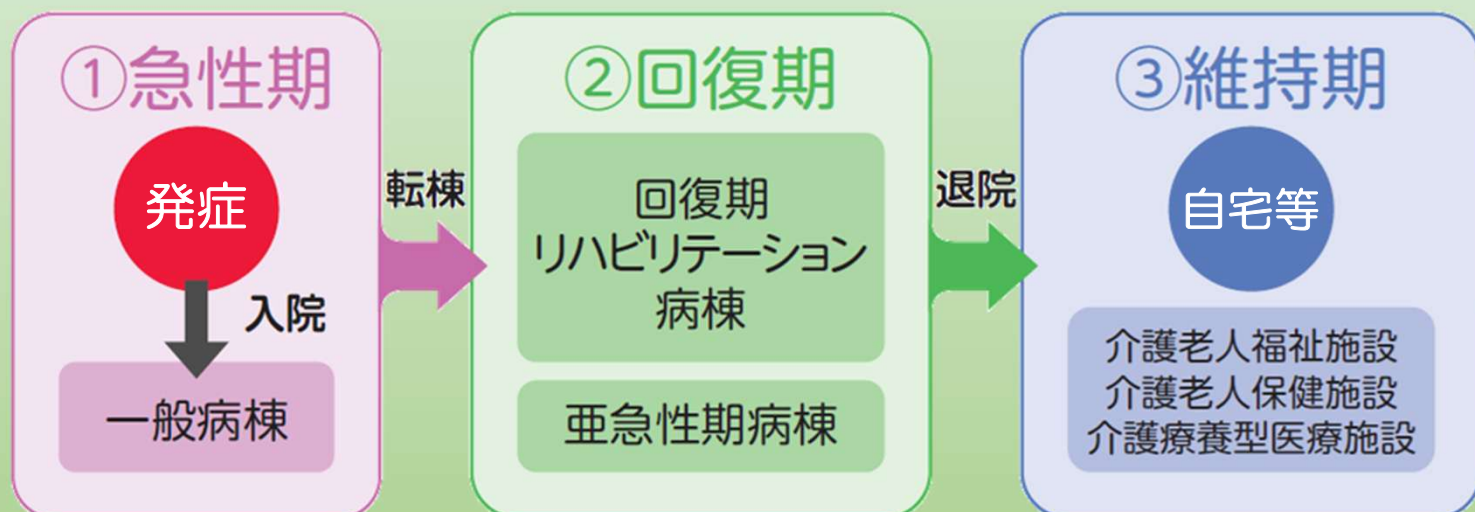
新八街総合病院

New Yachimata General Hospital

リハビリテーション科

リハビリテーションってなに？

●リハビリテーションの流れ



① 急性期

出来るだけ早く家庭復帰・社会復帰するためには、廃用症候群を予防することが重要です。そのため早期からリハビリテーションを行います。

② 回復期

在宅復帰、社会復帰を目指し日常生活のリハビリテーションを行います。

③ 維持期

当院では、退院後必要に応じて、通院リハビリなどを通じて患者様へのサポートを行います。

家庭復帰

社会復帰

寝たきり予防



リハビリテーションの種類

理学療法 (PT)

基本動作能力(起き上がる、座る、立つ、歩くなど)の回復をはかり、健康と生活を支援します。



作業療法 (OT)

生活の中の様々な行為の練習(トイレ・食事・家事など)や、作業を用いて健康と生活を支援します。



言語療法 (ST)

コミュニケーション・食事などの練習や生活を支援します。



リハビリテーションを効果的に進めるためには、
患者様が積極的に取り組む必要があります。

また、ご家族の方々の協力が不可欠です。
ご家族を含め、チーム一丸となって、
リハビリテーションを頑張っていきましょう。

01. 回復期リハビリテーション病棟について

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患や大腿骨頸部骨折、廃用症候群等の患者さんに対して日常生活動作能力の向上による寝たきり防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーション計画を医師、看護師、介護福祉士、ケアワーカー、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー等が共同で作成し、これに基づくリハビリテーションを集中的に行うための病棟です。厚生労働省が疾患などの条件や入院期間を定めており、例えば脳血管疾患や頸髄損傷などは最大入院期間180日、大腿骨や骨盤などの骨折は最大90日の入院期間が定められています。

これは、「必ずこの日数を保証する」というものではありません。個々の病状を踏まえた上でリハビリテーションの目標を立て、その目標を達成するまでの期間が、当院での入院期間となります。

リハビリを行う時間は1日最大9単位＝3時間（1単位＝20分）までと長時間認められています。患者さまの体への負担を考慮しながら、長時間リハビリを続けるのが難しい状態のときは1回のリハビリ時間を20分や40分と短くして数回に分け、長時間頑張れそうなきには、60分を3回行うなど組み合わせて行います。

| | 疾 患 | 最大入院 日数 |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| ① | 脳血管疾患（脳梗塞・脳出血）、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後の状態、義肢装着訓練を要する状態 | 150日 |
| ② | 上記①と同疾患で、高次脳機能障害を伴った重度脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合 | 180日 |
| ③ | 多肢の骨折、大腿骨・骨盤・脊椎・股関節又は膝関節の骨折又は手術後 | 90日 |
| ④ | 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は廃用症候群の発症後の状態 | 90日 |
| ⑤ | 股関節又は膝関節の置換術後の状態 | 90日 |
| ⑥ | 大腿骨・骨盤・脊椎・股関節又は膝関節の神経・筋・靱帯損傷後の状態 | 60日 |

02. 入院について

家庭復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う為、家庭環境に近い生活を送ります。

- ・起床後は、普段着にてリハビリを行います。
- ・お食事は、車椅子乗車してデイルームで摂ります。 ※現在中止中
- ・リハビリ以外の時間も、出来るだけベッドから離れて生活が出来るよう余暇活動を行います。
- ・排泄はリハビリパンツやオムツから、一般トイレ、車イストイレ、ポータブルトイレを利用出来るように促します。
- ・歯みがきや着替えも患者さんご自身でなるべく行えるよう支援いたします。
- ・ご家族にも、介助に協力していただけるようにスタッフが支援いたします。
- ・当院は歯科併設のため、入院中に歯科治療や義歯調整などの歯科受診をしていただく事が可能です。

※入院中の健康診断や他疾患の積極的な加療は行えない場合があり、必要時には一旦転院等の手続きが必要となることがあります。

03. 入院に必要な費用について

医療費

国民健康保険、社会保険、後期高齢者医療保険など、区分により異なります。※所得に応じて減額などの助成が受けられる場合がありますので、加入している健康保険窓口におたずねください。

食費

1食510円 ⇒ 1ヶ月(31日) 47,430円
※所得に応じた減額等の助成が受けられる場合があります。

居住費

1日370円 ⇒ 1ヶ月(31日) 11,470円
※65歳以上の患者様のみ。65歳以上でも一部、負担金のかからない患者様もいます。

リース

★衣服、日用品レンタル(e-レンタル)
1日715円(税込) ⇒ 1ヶ月(31日) 22,165円
★口腔ケアセット
1日110円(税込) ⇒ 1ヶ月(31日) 3,410円
※ご希望の方のみ。1階総合受付(5番窓口)にてお申し込みください。

オムツ代

紙パンツ・尿取りパッド等は、必要に応じて病棟からお出しします。オムツ代の請求書は外部委託している業者から郵送で届きます。オムツを使用される方は、1階総合受付(5番窓口)にてお申し込みください。

室料

個室 1日4,400円(税込)
二人部屋 1日2,200円(税込)
※ご希望の方のみ。大部屋(4人部屋)の室料はかかりません。

04. 退院について

医師・看護師・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーなどが患者さんの状態や家庭環境を踏まえてカンファレンスを行い、患者さんやご家族を含めた面談を行います。

また、自宅環境に合わせたリハビリテーションを行うために、必要に応じてリハビリスタッフがご自宅に訪問させていただいたり、ご家族にご自宅のお写真を撮影していただくなど、ご協力をお願いしています。

退院後も安心して生活が出来るようお手伝いさせていただくため、家屋環境を確認して住宅改修や福祉用具などのご提案をするなど、早期の退院・社会復帰を目指していきます。

■退院基準■

当院入院中におけるリハビリテーションのゴール(目標)を達成したとき。
全身状態により、リハビリテーションの継続が困難と当院医師が判断した場合(状態に応じた転院先や施設入所について相談いたします)。



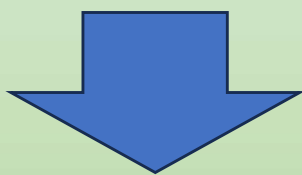
05. 当院でのリハビリテーションの流れについて

入院（当日）

主治医・病棟スタッフ・リハビリテーションスタッフ・
薬剤科・栄養科・ソーシャルワーカーによる診察・検査など



ケア・カンファレンス
※ 治療方針の決定、ケアプランの作成



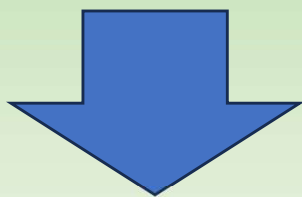
リハビリテーションの開始（入院翌日より）

ケア・カンファレンスで決定した治療方針にもとづき、
リハビリテーションを開始いたします



リハビリテーションの経過や退院計画をご家族へ報告

リハビリテーション総合実施計画書を作成し、
毎月のリハビリテーションの様子をお伝えします。



退院

自宅・施設・病院など



- ・リハビリテーションの様子を見学していただきます。
- ・ご自宅等へ訪問し、家屋調査を行います。
- ・住宅改修の準備、制度や住宅サービス等の利用支援をいたします。
- ・ご家族への介助指導をおこないます。
- ・施設や病院申し込み等の必要な手続きを案内いたします。

06. ご理解いただきたいこと（ご家族様など）

● 転倒、転落及び専門病院への転院について

- ・入院生活は、これまで過ごしてきた環境とは異なります。また高齢の方は筋力や注意力が低下することで思いがけない転倒事故が起きることは少なくありません。また入院中リハビリテーションで運動能力が上がると、患者さん自身で活動する機会も増え、転倒転落の危険性が高まります。しかし、転倒転落を予防しようとする、活動を制限することにもつながり、効果的なリハビリテーションを行うことができなくなります。当院では、患者さん、ご家族と協力しながら転倒転落の予防を行っていきます。詳細については入院後、医師から説明があります。
- ・高齢の方は加齢に伴い、心臓や肺の機能が低下するため、心不全、肺炎等の内科的合併症を起こしやすく、重症化する可能性があります。

安全に入院生活を送るために

リハビリテーションを行っていく上で、様々な危険性や積極的なリハビリテーションを妨げる要因が考えられます。医師と相談の上必要な配慮を取りながらリハビリテーションをすすめておりますので、ご理解下さい。

どんな危険性があるの？

転倒、転落、誤嚥性肺炎が代表的です。



転倒はどんな時におこってしまうの？

歩行練習中や階段、エレベーター、屋外の歩行中などで特に転倒の危険が高いです。万が一、転倒により骨折や打撲をした場合、積極的なリハビリテーションが行えなくなってしまうです。



**安全
対策**

リハビリスタッフが側にいない時に歩くことや、病棟外での活動を制限させていただく場合があります。

転落はどんな時に起こってしまうの？

ベッドから車いすへの移動、車いすからトイレへの移動の時に特に転落の危険が高いです。

**安全
対策**

これらの移動の制限をさせていただく場合があります。

様々な合併症が起きた場合は、治療のため専門の病院へ転院していただく事があります。

●生活上守っていただきたいこと

入院は、だれにとっても不安で苦痛なことです。それでも治療やリハビリを行わなくてはならない状況があります。よりよい、入院生活を送るために、以下のことについてご協力ください。

- ・マナーを守り節度ある行動をお願いします。特に携帯電話（スマートフォン）に係るトラブルが増えております。また、消灯後のスマートフォンからmelerる明るさにも気遣いをお願いします。
- ・病院の敷地内は全て禁煙となっております。（電子タバコを含む）
- ・売買行為や勧誘等は禁じております。
- ・機器設備や建物設備等を重大な過失により破損した場合は、弁償していただくことがあります。
- ・飲酒、暴力行為、大声、暴言、または脅迫的言動等は固く禁じます。場合によっては直ちに退院していただきます。

◎ 研修生、実習生の受け入れについて

当院は、将来の医療を担っていく学生（医学生、リハビリ学生、看護学生等）の臨床実習を受け入れております。患者さんのご了解の上で臨床実習をさせていただいておりますが、ご不明な点やご不満がございましたらお申し出ください。

◎ 臨床研究について

当院は、治療やリハビリ・ケアのよりよい質の向上のために、患者さんに臨床研究に参加をお願いすることがあります。その場合は、文書等によりご説明しご同意をお願いいたします。一方、臨床研究で得られた結果を公表する場合は、個人が特定できないように処理を行います。なお、臨床研究への参加は、患者さんの自由意志で決定でき、お断りになられても治療上不利益を受けることはありませんので、ご安心ください。

07. 交通案内

JR総武快速線（総武本線直通）東京駅より八街駅まで「特急しおさい号」で54分

- ・八街駅 北口より徒歩15分
- ・八街駅 北口より千葉交通バス（京成成田駅行「八街一区」下車 徒歩1分）
- ・八街ふれあいバス巡回



新八街総合病院

New Yachimata General Hospital

〒289-1115 千葉県八街市八街ほ137-1
TEL 043(443)7311 (代)